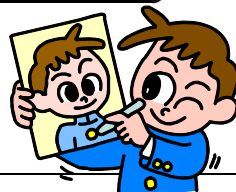


内 容



学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	4	オリエンテーション ・美術の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。 ○見通しをもち積極的に取り組むことを目指します
	5	立体・ボックスアート 「僕の・私の心の世界」 ・メインモチーフを中心に自分のテーマを表現する。 ・心の中にある思いを伝えるための背景や世界を表現する。
	6	
	7	
2 学 期	9	鉛筆デッサン 「僕の・私の自画像」 ・15歳の自分の内面の思いや、不安、悩みを自分自身の顔と向き合うことで観察を通して、自身との対話をする。
	10	
	11	
	12	
3 学 期	1	デザイン 卒業制作・思い出アルバム ・3年間の東中学校での思い出を個々にアルバムにまとめる。 ・時間軸で入学式から順にまとめる。将来の夢や大人になった自分へのメッセージを15歳の自分から贈る。
	2	
	3	

評 価

<評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
  - ・授業に楽しく、意欲を持って熱心に取り組む（授業態度など）
  - ・授業の準備や提出物、期日までに作品を提出する。自分の制作に必要な物を自分で考えて準備する。（提出物）
- ② 発想・構想の能力
  - ・自分の気持ちや思いを作品に表現する（作品・作業記録表・アイデアやレイアウトのプリント）
  - ・自分独自の構成を考え、よりよい作品にするために工夫する。
- ③ 創造的な技能
  - ・自分の思い通りに表現することができるようにする（ノート、作文など）
  - ・より高いレベルを目指して作品に取り組み、丁寧に仕上げる。（作品途中の評価、作品の完成度、工夫・努力）
- ④ 鑑賞の能力
  - ・鑑賞の授業に積極的に取り組む。（作業記録表、鑑賞プリント）
  - ・日本や世界の美術作品や作家を調べてレポートにまとめる。
  - ・自分の作品や活動を自己評価し、次回への課題を見つけようとする。

<評価の方法>

・毎時間の授業への取組、作品の完成度・工夫・努力、鑑賞プリント、作業記録法、アイデアプリントなどの学習活動を基にして総合的に評価する。  
4つの観点のポイントを意識して、経験と努力を重ねていくことが、力を伸ばすことにつながります。

作品の評価

- 5 よく工夫され、丁寧に仕上げられた完成度が高い作品
- 4 よく工夫され、丁寧に仕上げられた作品
- 3 自分なりに工夫され、仕上げられた作品
- 2 作品制作に取り組むが、努力を要する
- 1 作品制作に十分取り組むことができず未完成、未提出。

学 期 提 出 物

- 1 ・クロッキー作品、ボックスアート作品、作業記録表、プリント
- 2 ・風景画（夏の課題）、素描・自画像作品、作業記録表、プリント
- 3 ・プライベートアルバム作品、作業記録表、プリント

授業中

①授業の準備をしつかりする。  
（道具や材料の忘れ物をしない。チャイム着席するなど授業の約束を守る）  
②目的と意欲をもって授業に臨む。  
学ぶべきところを学ぶ、高めるところは磨く。積極的に取り組む。  
③創意工夫して作品の完成をめざす。



復習

取り組んだ作品が決められた期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」、自己評価する。  
（遅れている場合には、できる作業を行う。）  
\*自分以外の作品や教科書の作品をよく見て、よさを感じる心や自分もやってみたいという気持ちを持ちましょう。



※安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守りましょう。